

上期の進捗と中長期展望

持続的かつ収益性のある成長の実現に向けて

テルモ株式会社

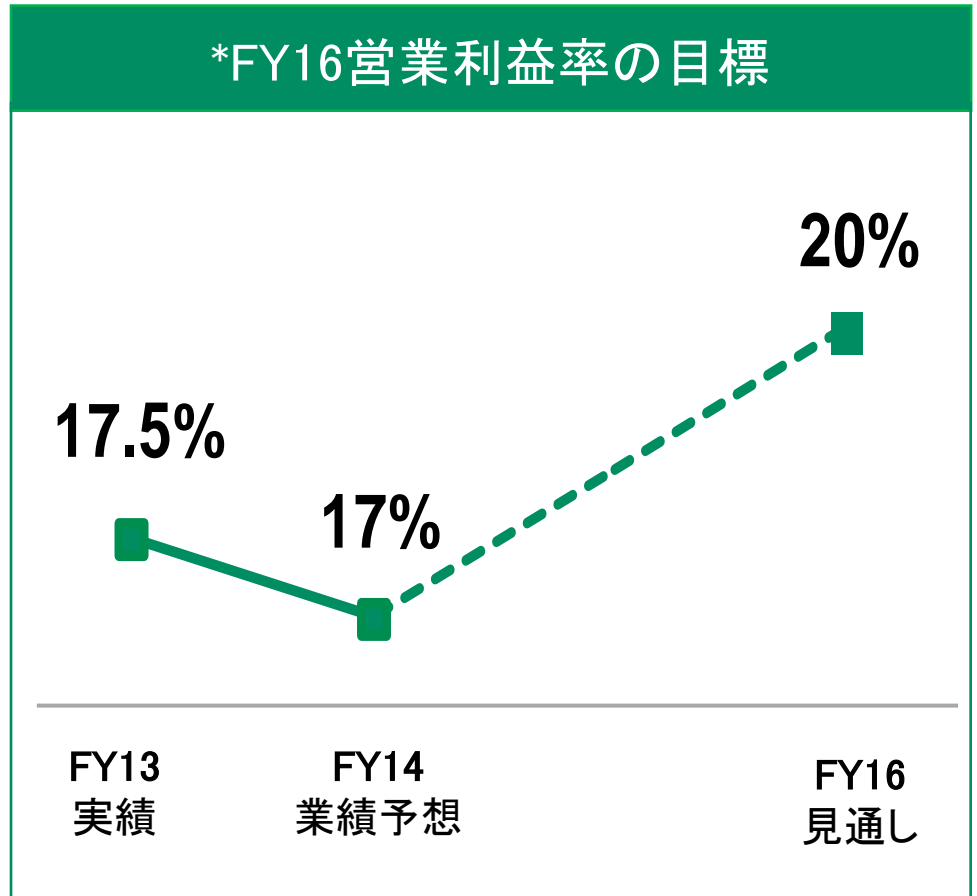
代表取締役社長

新宅 祐太郎

2014年11月5日

再生ロードマップ

- FY13-14は足場固め
事業の棚卸し
- FY14目標は達成する
- FY16に営業利益率20%
達成を目指す



*のれん等償却前営業利益率

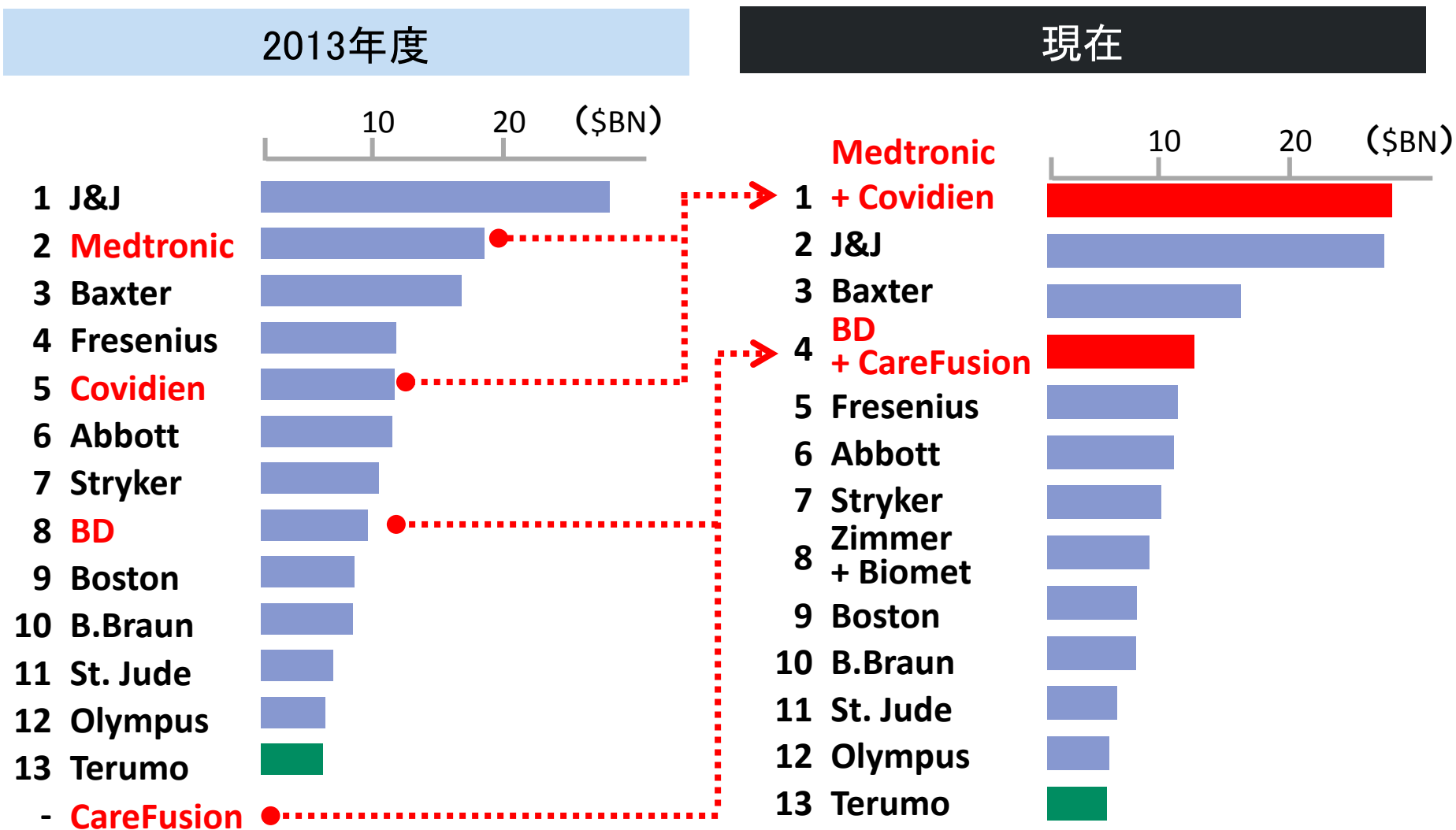
■ FY13に続き、事業の棚卸しを実施

- 中国・長春の血液バック生産拠点閉鎖(9月)
- 欧州ホスピタル事業ポートフォリオ改革(10月)

■ FY14目標達成に向けて、順調な滑り出し

■ カンパニー経営による収益マネジメント強化で 営業利益率(のれん等前)20%を目指す

世界では業界のコンソリデーション進行中



テルモの中長期展望

1. ユーザビリティに優れた製品の継続的提供
2. IS事業の海外プレゼンスの拡大
3. Ultimasterローンチ
4. 持続的成長のためのダブルパイプライン
5. IS新規開発を米国西海岸で強化
6. 再生医療、細胞治療への展開

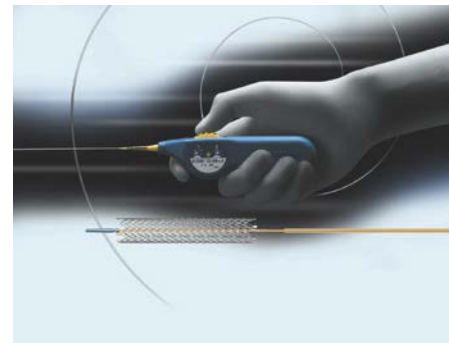
1. ユーザビリティに優れた製品の継続的提供

2014年度グッドデザイン賞受賞

■ Misago (ミサゴ)

< 評価コメント >

- 柔軟に追従、治療の精度を高めた
- 握りやすいフォルム



■ メディセーフ ファインタッチディスプレイ

(血糖測定用 採血用穿刺針)

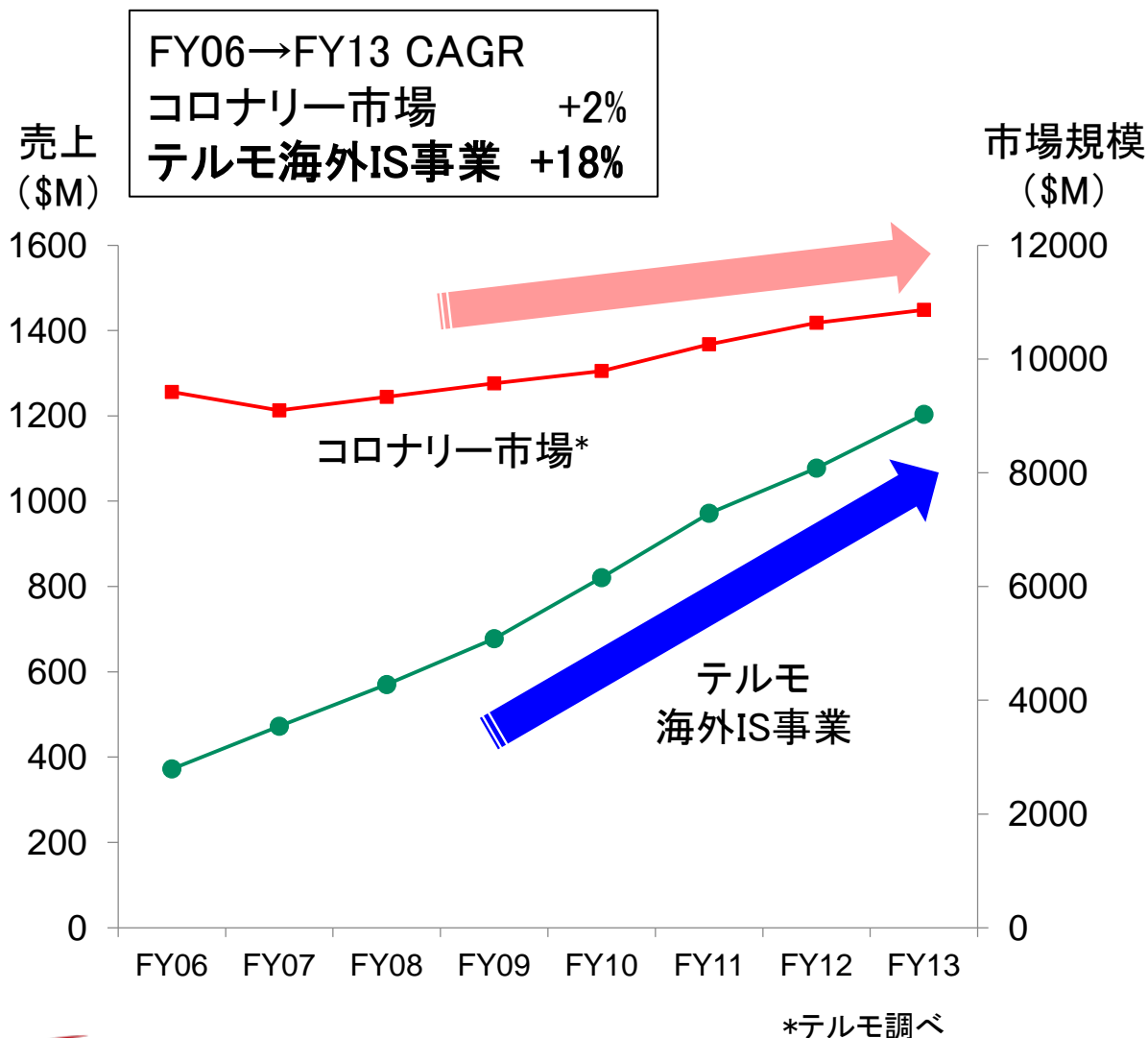
< 評価コメント >

- 持ちやすさとシンプルな操作感
- 針刺しリスク・痛みの低減も期待



2. IS事業の海外プレゼンスの拡大

市場を大きく上回る成長率



EuroPCR 2014 会場正面



テルモブース

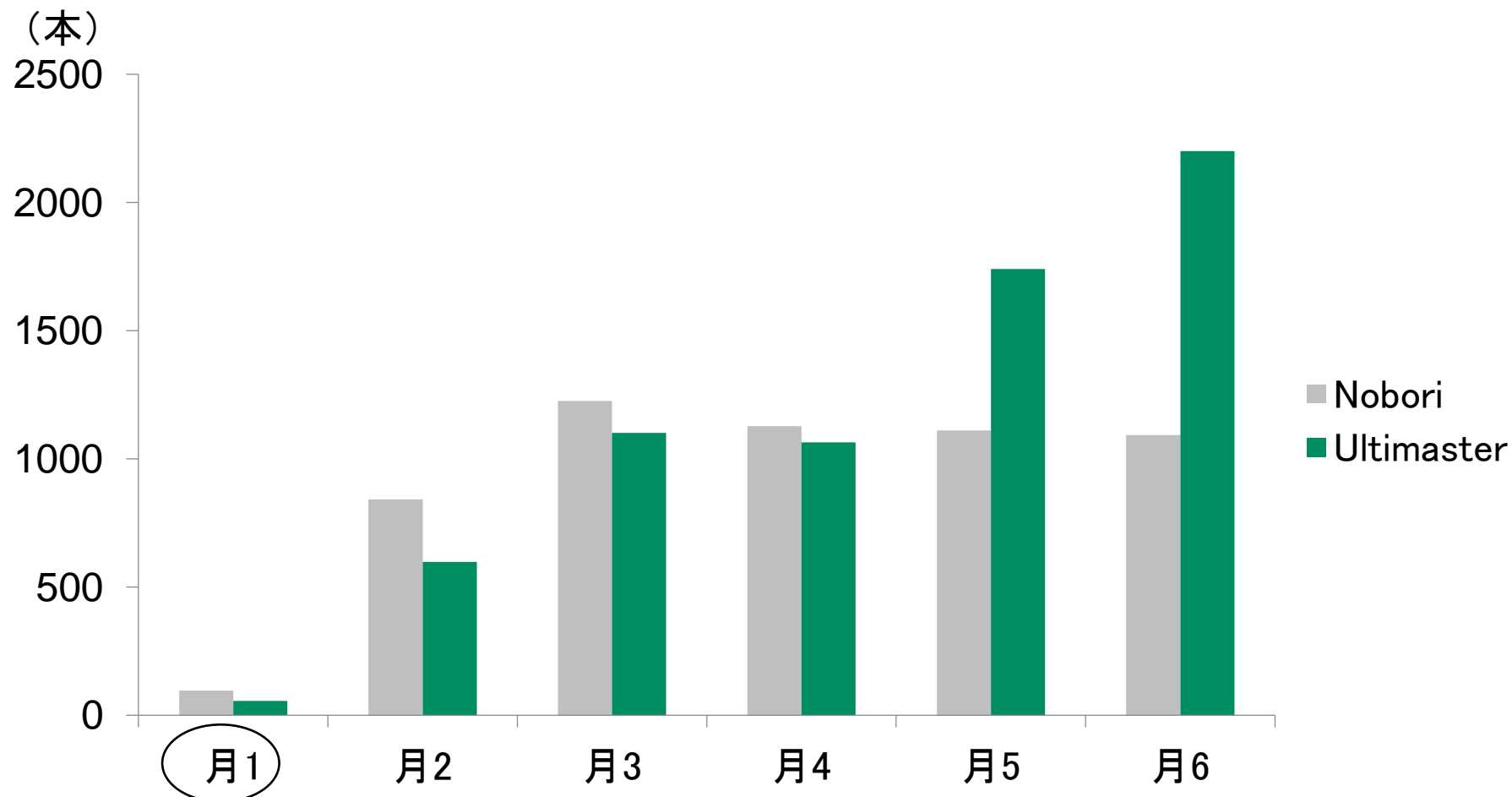


Ultimaster & OFDI Live



3. UltimasterローンチはNoboriを上回るペース

売上、収益面の貢献が期待される



Nobori: 2008年4月

Ultimaster: 2014年5月

4. 持続的成長のためのダブルパイプライン

生体吸収性ステント

生体吸収性ステント
仏ART社との共同開発



2008年
Nobori



- 片面コーティング
- 生分解性ポリマー

2014年
Ultimaster



- 薄いストラット
- 高い血管追従性

ハイブリッド型DES

5. IS新規開発を米国西海岸で強化

アーリー
ステージ

シリコンバレー
リソース活用

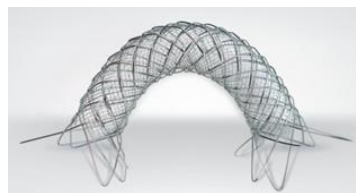
- Fogarty Institute for Innovation 参画
- EMP II 出資



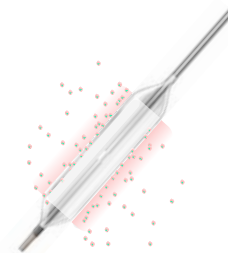
本格開発

マイクロベンション
開発インフラ活用

- 頸動脈ステント (CASPER)
- 薬剤塗布バルーン (DCB)
- 次世代下肢用ステント



頸動脈ステント
(CASPER)



薬剤塗布バルーン
(DCB)

臨床試験

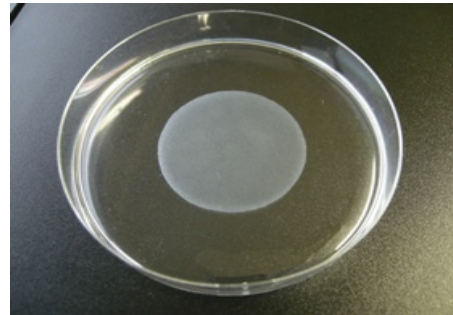
米国臨床組織
強化

- 迅速なローンチ
- 治療系製品への対応

6. 再生医療・細胞治療への展開

■細胞シートによる心筋再生医療

- 骨格筋芽細胞シート 承認申請完了
- 日本発、世界初の心筋再生医療製品の
実用化へ向けた第一歩



2014.10.31
日本経済新聞
朝刊 1面

■テルモBCT:細胞治療向けビジネスを拡大

- 幹細胞の抽出、増殖、大量培養のための機器提供

感染症に対するテルモBCTの取り組み

成分採血

病原体低減化システム

■ 血清治療（トリマ、ミラソル）

- 血漿採取、輸血の安全性担保

■ ワクチン作成への活用検討 （ミラソル）

- エボラウイルスの不活化

■ デング熱等の感染拡散予防 （ミラソル）

- 輸血起因による感染拡散予防

2014.10.22
日本経済新聞
朝刊 6面

おことわり

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。